

令和2年度第4回奈良市高齢者保健福祉推進協議会の意見の概要	
開催日時	令和3年2月3日（水） 午後1時45分から午後3時10分まで
開催場所	奈良市役所 北棟2階 第16会議室
意見等を求める内容等	<p>【案件】奈良市老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画（案）について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パブリックコメントの結果について 2. 介護保険料について 3. 施設整備について
参加者	出席者9人（山崎委員、荒田委員、七海委員欠席） 事務局12人
開催形態	公開（一部非公開）（傍聴人1名）
担当課	福祉部 介護福祉課
意見等の内容の取り纏め	
事務局による概要説明の後、出席者に意見等を求めた。	
<p>《報告内容》</p> <p>【案件】奈良市老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画（案）について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パブリックコメントの結果について 2. 介護保険料について 3. 施設整備について 	
<p>《委員からの意見・議論等》</p> <p>【案件1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局よる「パブリックコメントの結果について」の説明と、それに対する委員からの意見及び質疑応答。 ・総合事業の実施についてで、すべて地域で担うわけではなくて、事業者にお願いしないといけないこともあるので、そのへんのバランスについては引き続き検証が必要と思う。 ・地域包括支援センターの役割だが、今年度厚労省が「重層的支援体制整備事業」を言っているので、包括のあり方も含めて考え直す必要があると思っている。 ・市の方では基幹型の包括となり全体を見渡せるようになった。8050問題が話障害者分野でも高齢者の方の課題を共有できるようになっている。 ・縦割り行政にならざるを得ない部分があるが、垣根を下げて行って本当の意味での地域包括ケアを考えていくうえでこの8期の地域包括支援センターの在り方の検討が次の大事な要素になる。 	

- ・認知症対策については、個人情報 の取扱いについて行政や福祉関係者だけでなく、地域の事業者も巻き込んだ支援体制を考えていくという方向性が必要。
- ・介護人材の確保が困難であるという現状。人材確保に関しては県との連携が大事。
- ・感染症対策の近々の課題としては高齢者施設に入所されている方へのワクチン接種を至急に取り組むことが必要。国の施策、県、市の動きを見ても予約システムが全く確立されていないので、予算を確保して至急に整備を進めると医療側も動きやすい。
- ・ワクチンの具体的な摂取の方法など保健所等とシミュレーションすることを願います。段取りを早急に決めていただきたい。
- ・万年青年クラブについて、全国的に見て老人クラブの加入率は下がってきている。奈良市は何%くらいだったか。
- ・老人クラブは高齢者の社会参加の窓口になる、地域貢献、健康づくりの場として大事である。
- ・民生委員の課題は、認知症の方の見守りとコロナの影響による孤独死などがある。
- ・社協では来年度から始まる重層的相談体制、断らない相談体制を、相談機関や地域の方々と一緒に構築していく。
- ・「奈良市としてケアマネジメントに関する考え方を、集団指導を通して周知する」とあるが、今法定の更新研修の場で伝えていることとの互換性のあることを伝えていきたい。
- ・認知症対策や見守りについて、「みまもりあいネットワーク」を各自のスマホにダウンロードすることを推奨している。行方不明者が見つければ「ご協力ありがとうございました」をサポーターの人が見るまで消えないようにしてもらいたい。

【案件2】

- ・介護保険料について説明（非公開）

【案件3】

- ・施設整備案について説明（非公開）